



## 「保育料無償化」と「思い」

10月からの保育料無償化。無償化の背景には、世界的な幼児教育の動向の影響もあったと言われております。

そのひとつが、ノーベル賞経済学賞を受賞したアメリカ人経済学者ジェームズ・ヘックマンがうちだした「ペリー就学前教育」等の研究成果です。

それは結果から言うと「人生の成功者は幼児期に質の良い教育を受けているので、幼児期に教育投資をしましょう。」というものでした。

比較的平均収入の低い地域において無差別に50人から60人を選抜し、0歳から40歳までの成長の過程を追っていくという研究でした。2等分し、半分は丁寧に質の良い幼児教育。半分はそうでない幼児教育を受けてもらい、その後は1年生から、普通に他者と混ぜり合った成長を追っていったというのです。

1年生では差があったそうですが、3、4年生になるとまったく差がなくなったり、その後したい仕事ができているか、住みたい家にすんでいるか、幸せだと感じているか等等物心両面で調べていくと、丁寧に質の良い幼児教育を受けた方がより良い「幸せな」人生を送っている事がわかったというのです。

これは、世界中の幼児教育会に広がり、国によって様々な施策がなされました。3歳から義務教育になった国もありました。非認知能力の重要性も注目されました。

それでは、半数が受けた質の高い教育とはどんな教育でしょうか？

私達も日々、子ども保護者様から学ばせていただき正解がない「質の高い教育」を目指し研修会を行ったり、外部研修にも参加しており、日々研鑽に努めております。

現在取り組んでいる「プロジェクト型保育」はロボット等AIの時代を見据え「非認知能力」を育てる取り組みです。子供が自分で考え、自分たちで考え、コミュニケーションを取りながら何かを成し遂げていく。先生は、活動の場を作る。そこで出てきた行動や言葉を拾い上げて見守りながらも褒める。簡単に言うとそのような活動です。その中で、子ども同士、先生と子どもが共に成長していくのです。成し遂げた充実感と、失敗した時の次につなげようとするポジティブさは、こちらから見ていると、うれしさに涙がでそうなくらい「子と先生方の成長の実感」を感じることができます。そして、そこから私も学ばせていただいています。

「新しい事を成し遂げるのには、思いが強ければ強いほど実現していくものである。同時に、世のため人のためという、気高く美しいものであればあるほど、実現する確率が高くなる。」と、著名な経営者が残した言葉があります。大人であればまさにその通り、と努力をしようとしています。しかし、プロジェクト保育の中で子どもは、努力しなくてもそのような姿を自然体で見ることができます。「思い」を持とうとして努力して持たなくともしたいことを素直に考え実現しようとしているのです。自然にそう思えるのです。

そう考えると、子どもに学ぶことがたくさんあるように思える2019年の夏です。

